

リスクコミュニケーション(意見交換会)の コーディネーターを経験して

順天堂大学医学部公衆衛生学教室
堀口逸子

リスクコミュニケーションの定義

個人、機関、集団間での情報や意見のやりとり
の相互作用的過程

リスクコミュニケーションに含まれる2種類の メッセージ

- ・ リスクの性質について
- ・ リスクメッセージに対する、またはリスク管理のための法律や制度の整備に対する、関心、意見および反応を表現する

吉川肇子

相互作用の

- 行政や企業、科学者に代表されるリスク専門家から情報が一方方向に伝えられることではない
- 多くの個人や利害関係者の団体が、リスクについての疑問や意見を述べる
- リスクに関する情報を交換し、ともに意思決定に参加する

リスクコミュニケーションの手法

- 新しいあるいは特殊なコミュニケーション手法があるわけではない
- コミュニケーション技術としては、従来からの心理学のコミュニケーション研究の成果が生かせる

吉川肇子

アレルギー表示問題で学んだ リスクコミュニケーションへの道

- 同じ時代、同じ社会に暮らしていても「異文化」を背負う人びとがいることを理解する
- まず、同じテーブルについて、心を開いて話を聴く
- 押し付けないように自分の立場を説明する
- 立場と考え方に違いがあることを認める
- その上で、調整可能な部分があり、調整可能であることを皆が信じて、妥当な方策を探る
- 一度であきらめず、これを何度も繰り返す

丸井英二

今回のリスクコミュニケーション(意見交換会)
について自分なりに分析

目的

- 関係者間で問題意識を共有し、意見を出し合いながら、ともに考えることにより、社会的な合意形成の道を探る(農林水産省)
- 関係者間で問題意識を共有し、相互理解を図る(厚生労働省)

形式

- 意見交換会の要素を含む
- 大会議(大規模集会)の要素を含む

聴衆

- 大人数である
- テーマについて関心が高い人たち
- 行政機関への信頼性は高い？低い？
- 合意形成のためのグループディスカッションには慣れている？不慣れである？

パネリスト

- それぞれの立場から選ばれている
- 目的を事前に認識できていたかわからない
- 必ずしも人前で話すことに慣れているわけではない

コーディネーター

- 司会者？
- 議長(リーダー)？
- 進行役？

自分なりに考えた 今回のコーディネーターの役割

- **ファシリテーション**(集団による知的**相互作用**を促進する働き)の実施→**ファシリテーター**(協働促進者、共創支援者)としての役割を担う
- 中立性を保つ(意図する方向に収束させない):私見を述べてはならない
- プロセスをコントロールする
- 議論の内容をわかりやすく記述していく(同じ言葉を使ってもお互いがイメージしているものは違っているかもしれない:議論を描く)

今後に向けた反省と改善

- パネリスト及び参加者のリスクコミュニケーションに対する理解
- ファシリテーションができる体制
- コミュニケーションスキルを身につけたプロジェクト成功のミッションをもたない立場(主催者である行政機関ではない)のファシリテーターが必要

参考図書

- ・ 住民参加マニュアル 住民参加プログラムの計画と実施 カナダ環境アセスメント庁編 中島重旗監修 石風社 1998
- ・ 住民参加のシステム改革 自治と民主主義のリニューアル 室井力編 日本評論社 2003
- ・ ファシリテーター型リーダーの時代 フラン・リース著 黒田由貴子訳 プレジデント社 2002
- ・ ファシリテーション革命 参加型の場づくりの技法 中野民夫著 岩波アクティブ新書 2003
- ・ 問題解決ファシリテーター「ファシリテーション能力」養成講座 堀公俊著 東洋経済新報社 2003
- ・ ファシリテーション入門 堀公俊著 日本経済新聞社 2004
- ・ 合意形成論 総論賛成・各論反対のジレンマ 土木学界誌編集委員会編 土木学会 2004
- ・ ファシリテーターになろう 高橋浩一著 総合法令出版 2004
- ・ ファシリテーター・トレーニング 津村俊充、石田裕久編 南山大学人文学部心理人間学科監修 ナカニシヤ出版 2003
- ・ 合意形成の技術 山路清貴著 西東社 2004 他